

「磯辺地区学校適正配置地元代表協議会（仮称）の設立会議及び第1回協議会」

議事要旨

1 日時・場所・参加者

(1) 日時 2月18日(月)13時30分～15時

(2) 場所 磯辺地域ルーム(磯辺第一中学校内)

(3) 参加者

ア 協議会委員(別添の会議資料「資料2」を参照)

向井美也氏、大川典子氏、山根壮一氏は所要のため欠席。

イ 教育委員会 海宝教育次長、山崎企画課長、鍋木課長補佐、加茂主査、伊藤主査補

ウ 傍聴者 3名

2 承認及び協議された事項

(1) 磯辺地区学校適正配置地元代表協議会(仮称)の設立会議について

協議会設立の趣旨等及び協議会委員についての説明があり、協議会設立が確認された。

(別添の会議資料「資料1」、「資料2」のとおり)

磯辺第四小学校評議員住友國保氏の役職名に訂正があった。

協議会委員の名簿を教育委員会ホームページに掲載し、公表することが承認された。

(2) 第1回磯辺地区学校適正配置地元代表協議会(仮称)について

本会議の会長には、第33地区町内自治会連絡協議会会長の吉岡靖之氏、副会長には、磯辺第一中学校区青少年育成委員会会長の石塚浩子氏と磯辺第二中学校区青少年育成委員会会長の別所康宏氏を選出した。

議長には、副会長の石塚浩子氏が就任した。

次のことについて、協議及び質疑応答を行い、承認した。(協議の内容は「3 質疑応答及び協議の概要」を参照)

ア 会の名称は、「磯辺地区学校適正配置地元代表協議会」(以下、協議会)とすること。

イ 学校適正配置の概要と磯辺地区の学校の状況についての説明と質疑応答。

ウ 今後の進め方。

・協議会は2ヶ月に1回くらいの割合で開催すること。

・4、5月は自治会や保護者会等の役員改選の時期でもあるので、次回は平成20年6月2日(月)午前10時より、磯辺地域ルームで行うこと。

・次回は磯辺地区の学校適正配置の方向性についての課題を洗い出していくこと。

・協議会は傍聴可能とし、各所属組織に開催日時等を知らせること。

次の提案について承認した。

議事要旨については各委員の確認後、教育委員会のホームページで公開すること。

委員変更や協議会欠席の場合には、事務局である教育委員会企画課に連絡すること。

磯辺地区の適正配置の方向性に関する課題及び次回協議に必要な資料を3月31日までに事務局に連絡すること。

3 質疑応答及び協議の概要 (敬称略)

【磯辺地区学校適正配置地元代表協議会(仮称)の設立会議】 回答は企画課

(1) 会の設置趣旨について

村上 この協議会の開催期間は、どれくらいをめどにしているのか。

回答 期限は決めていないが当面の目安は2年間と考えている。

村上 期限は決めないが、ただだらと続けるわけではないということか。先ほどの設立の趣旨の「(3)合意形成に向け協議すべき主な内容」について今後協議し、追加するものがあるとしてもよいということか。

回答 そうである。

(2)協議会の委員について

村上 自治会長は(年度ごとに)代わるが、委員としてはそのまま残ることも可能なのか。

回答 会長が代わった場合は、引き継ぎをしてほしい。(会長を退いても)そのまま委員として残る場合は、会長の承認をもらい続けるようにしていただきたい。

【第1回磯辺地区学校適正配置地元代表協議会】 回答は企画課

(1)学校適正配置の概要と磯辺地区の学校の状況について

松山 現在の1学級あたりの子どもたちの人数の基準は何人か。

回答 小学校1・2年生と中学校1年生については38人、その他の学年は40人である。

村上 特別支援学級の子どもの人数や学級数は、今回の資料のデータには含まれていないということでしょうか。

回答 そうである。

武田 適正規模の学級数を中学校も12から24学級にした根拠は何か。24学級だと、中学校は1学年が8学級となる。

回答 地区の学校が2つの小学校、1つの中学校として、2つの小学校が4学級ずつあった場合でも、中学校が受け入れられることを想定している。

武田 中学校を1つにすることを前提にするとそうなるということか。

歌田 市立稲毛高等学校に中高一貫教育校を作った。一方ではそのような英才教育校を作り、もう一方の地域の学校は単に統合するだけなのか。矛盾を感じる。(子どもたちにとり)よりよい方向をめざして話し合っていきたい。

回答 市立稲毛高等学校の創立は、高等学校改革の流れと、市民の方たちの多様な要望に応えるためである。稲毛高校の特色である国際理解教育を生かし、千葉市全域を学区として中高一貫教育校を設置した。英才教育を行うための設置ではない。

歌田 差別を生むという危惧がある。

村上 磯辺地区の子どもたちはどれ位(市立稲毛高附属中に)入学したのか。

別所 磯辺地区からは2~3人と聞いている。

(2)今後の進め方について

議長 次回は、磯辺地区の学校適正配置の方向性の課題を洗い出していきたいと考えるがいかがか。意見をいただきたい。具体的な方法については事務局に説明していただく。

回答 配布資料に添付してある用紙に、磯辺地区の学校適正配置の方向性についての課題を記入していただき、事務局に送付してほしい。事務局で整理をして、次回の協議の資料として提供する。

荻原 何を課題とするのかがわからない。

回答 現時点での疑問や学校適正配置についての考えや意見を出していただきたい。それらを協議していくことにより、課題はより明確になるだろう。

荻原 考えや意見というのは、代表としての意見か、それとも組織内の意見か。

回答 出身組織により異なるが、現時点では委員個人としての考えや意見でよい。もしできれば、組織の意見も反映してほしい。

村上 磯辺第一小学校区内には自治会が5つある。すべての自治会に聞くことは不可能である。今の段階では、自分の自治会や自分としての考えや意見を述べていくことになるう。

- 山崎 自分も（稲毛高浜南団地自治会の）住民の意向をまだしっかりと掴んではいない。自分の自治会が一番問題の地区なので、今後の話し合いでご迷惑をおかけすることもあるだろう。よろしく願いしたい。
- 村上 （千葉市において初めて統合した）花島小学校の統合の際の手順や手続きについて教えてもらおうと参考になるだろう。
- 山崎 （学校適正配置の情報を得るための）教育委員会のホームページにたどり着くのがたいへんである。簡単にアクセスできるようにしてほしい。
- 回答 （教育委員会で）千葉市のトップページを変えることは不可能である。委員名簿にある企画課のホームページアドレスを入力していただくと速くアクセスできるので、組織の皆さんにもお知らせいただきたい。
- 山崎 （今回の学校適正配置は）千葉市全体の大きな問題なのだから、工夫してほしい。
- 回答 善処したい。
- 歌田 小規模校では（中学校での）部活動が成立しにくいことなどから、「どうせやるなら早い方がよい」という声もある。在学している子どもたちや保護者の不安を取り除きながら協議を進めたい。教育委員会がリーダーシップをとっていくことも必要だろう。
- 村上 この協議会の議事録は公開するのか。
- 回答 教育委員会でまとめ、議事録の案を委員の皆さんにチェックしていただいてから（教育委員会のホームページで）公開する。

（３）その他

- 寺山 現在は保護者会の会長として出席しているが、来年度役を退いた場合、協議会の案内は（来年度の）保護者会会長に送られるのか。
- 回答 原則としては保護者会会長に送付する。役を退いても委員となる場合には、個別に対応するので連絡していただきたい。
- 西村 議事録はいつごろ公開されるのか。
- 橋爪 議事録は各小・中学校に送られるのか。
- 回答 （議事録のホームページへの掲載には）２～３週間ほどかかる。小・中学校には送付しないがPDFファイルで作成し、ダウンロードが可能なので利用してほしい。
- 村上 ホームページに掲載したものは、印刷等して配布してよいということだろう。協議会の日時等の決定したことなどは早く掲示し、内容等は後で掲載するという方法もあるだろう。